

# ✿ 干布小学校だより

2月号 R4.2.22  
天童市立干布小学校  
校長 多勢 弘子

## 自分を高める使い方は？

### ～タブレットの有効活用について～

コロナ感染が広がっており、いざという時のために、タブレットを毎日持ち帰っています。

干布小では以前からタブレットの積極的な活用を進めてきましたが、改めて、休校措置に備え、子供たちが自分でタブレットを使い、自宅から授業に参加したり、健康状態を報告したりできるような練習もしてきました。そのお陰で現在、コロナ感染拡大予防のために自宅から授業に参加する子供たちが毎日のようにいます。

そこで、子供たちの驚くべきことは、自宅からでも自分の考えをタブレットに書いて教室に送ったり、教室の友達とタブレット越しに意見を述べ合ったり、教室にいるときと同様に学習を続けていることです。



授業の中で、自宅にいる児童と教室の児童が対話している様子

テレビのニュース番組で言えば、記者が外部からレポートする場面を想像してみてください。それと同様に子供たちは自宅から一人で教室に向かって話をするのです。すごい度胸ですよ。でも、それを普通にこなしています。

さて、一人1台タブレットが干布小に入って1年経ちました。この1年間で学習が激変しました。しかし、そもそもなぜ、タブレット学習なのでしょう。

2018年国際的「生徒の学習到達度調査(PISA)」の調査結果で学校におけるデジタル機器の使用状況が、加盟国(37カ国・地域)最下位、逆に「1人用ゲームで遊ぶ」頻度は1位という結果がきっかけでした。※15歳対象

世界の子供たちはすでにデジタル機器を使って自分の興味のある課題について世界中から資料を集めたり、中には大学の論文を読んだりして情報を収集し、自分の課題を解決していく学習を進めていました。だから、タブレットは学ぶた

めの道具という意識です。

ところが、日本の子供はゲームの道具という考えがほとんどで意識の違いが明らかになったのです。このままでは、自分の学びを広げ、英語で対話しながら学びを深めていく世界の子供たちに遅れをとってしまうだろうという心配が出たのです。



今年度、干布小の子供たちは次のような道具として活用しています。

- ①情報収集、情報の共有、発表などの学習の道具。
- ②健康状態の報告、連絡事項の確認のための通信手段としての道具。
- ③オンライン授業(在宅、外部講師)の道具。

1年間でタブレットを使った多様なスキルを身につけてきました。次の段階は、タブレットを使う本来の目的である自分の学びをさらに充実させることです。

そのためには、自分はどんなことを調べたいのか、やりたいのかということ自分で考えられる子供になってほしいと思います。そうすれば、タブレットはどう使う道具なのか意識も変わってくるはずではないでしょうか。

## ファシリテートで つなぐ・つくる

コロナ感染症対策に誰にとっても正解という「絶対解」はありません。予測困難な時代を生き抜く子供たちは、このような正解のない課題に向き合うことが多くなるでしょう。ですから、様々な価値観の人たちといたかにして「最適解」や「納得解」を見つけ出せるかということが大事になってくると考えています。

そのとき、人の意見を引き出し、まとめてひとつの解へと導く手法にファシリテーションがあります。



2/18(金)21(月)に石倉出身の工藤美季先生に全学年「ホワイトボード・ミーティング®」を教えていただきました。



まずは、2人1組になり、進行役のファシリテーターが相手の人の好きな食べ物について話を引き出す練習です。その時大事なものは「質問の技」と聞く時のあいづちです。

「というと?」「なるほどね」「わかるわかる」という言葉が入るだけで、子供たちの会話は続き、和やかな雰囲気でした。

まずは、会議の中で自分の考えを出しやすい雰囲気づくりから始めていきます。そして、普段から互いの意見が尊重され、次第に自分たちでよりよい学校生活を創る意識が高まってくることを期待しています。



## 3月 主な行事予定

- 1日(火) 安全点検 通学班長会
- 2日(水) 登校指導
- 3日(木) 6年生を送る会
- 17日(木) 修了式 通知表配付 卒業式準備
- 18日(金) 卒業証書授与式
- 19日(土) 春の四谷交歓会(～21日) →中止  
年度末・年度始め休業(～4/6(水))
- 25日(金) お別れの式
- 29日(火) PTA 会計監査



### 2/21(月)委員会活動

全校児童からのアンケート集計結果をもとに、今年度の振り返りを行いました。タブレットでデータの活用が身近になりました。

これからも感染状況による変更が予想されます。詳細については随時学校ホームページでお知らせしております。学校の様子も含め、ぜひご覧ください。  
学校ホームページ <https://www.hosinuno.jp/>

